

「多摩のまちづくり戦略」（素案）の意見募集の結果について

○実施時期：令和6年1月26日（金）から同年2月24日（土）まで / ○意見総数：31通47件

項目		意見概要	東京都の考え方
全体、概要資料		東京の市町村の開発は、なかなか進まずようやく立川に手がついてきたところとを感じる。まず企業が少なく、人口の減少がすすむことなどから、本当にまちづくりが進むのか？とっていた。このような素案が作られていることを知り、大変すばらしいと思っている。今、地方がしているように、古きを大切に科学の進歩には敏感に、そして何よりお金を極力大切に使う、開発を進めてほしいと本気で思っている。	多摩地域は企業や大学の集積、豊かな自然など、多様な魅力やポテンシャルを有しており、こうした地域の持つ個性をいかしたまちづくりを進めていく必要があります。また、着実にまちづくりを推進するため、まちづくりの進捗や社会状況の変化を踏まえ、随時、プロジェクト等のブラッシュアップを行うとしています。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		小学生にも、意見を聞いてもらうことで、町の一員としての意識もつきかけに、少しでもなればと思う。	本戦略の作成に当たっては、子供の意見表明の機会を充実させるとともに、その意見が適切に施策に反映されるよう、出前授業、アンケート調査及びこどもワークショップを実施しました。
		多摩地域が開発することはうれしいが、多摩地域ならではの、どこからでも自然の緑が観えるという景観は守り続けて欲しいと感じた。なおかつ、子ども達にとっての便利さ、安全性、安心して遊べる街づくりをお願いする。	多摩地域は企業や大学の集積、豊かな自然など、多様な魅力やポテンシャルを有しており、こうした地域の持つ個性をいかしたまちづくりを進めていく必要があります。また、施策の方向性として「子供を産み育てやすい環境を高めるまちづくりを進める。」などを示しています。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		誰にでも魅力的なまちづくりは難しい、まちの個性をいかしたまちづくりで良いと感じた	多摩地域は企業や大学の集積、豊かな自然など、多様な魅力やポテンシャルを有しており、こうした地域の持つ個性をいかしたまちづくりを進めていく必要があるとしております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		PDCAを少なくともCAPDの順に変更した上で、まず「C」の部分に限って「社会の認識」が正しいかどうか、意見を求めるべきであり、知的生産性が皆無。最近の新聞でも新しい形の将来像或は未来像の必要性が多く知識人から寄せられており、見直しが必要と認識する。多摩をよくするため、思い切ってやり直す勇気が求められていると理解する。	着実にまちづくりを推進するため、まちづくりの進捗や社会状況の変化を踏まえ、随時、プロジェクト等のブラッシュアップを行うとしています。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
目的と位置づけ		都市づくりのランドデザイン策定後の社会状況の変化を踏まえ、上位計画の見直しが必要ではないか。	コロナ禍を経た新たな暮らし方・働き方の浸透など社会状況の変化を踏まえて、都の広域的なまちづくりの取組を示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
まちづくりの方向性	全体	まちづくりの方向性として、東京都といえどもコンパクトシティ化は入れるべきだと思う。今後、インフラ維持のコストは増大する一方で人口は減少していくため、居住地誘導を行って、拠点として設定された地域の半径〇〇m以上は居住に制限をかける等の施策が長期的には必要と思う。そして拠点として指定された地域にリソースを投下すべきだと思う。	少子高齢化や人口減少が進行する中においても、都市の持続的発展を可能とするためには、身近な地域で誰もが活動でき快適に暮らせるまちへの再構築に向けた取組を推進することが重要であるとしております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目		意見概要	東京都の考え方
まちづくりの方向性	全体	街には多種多様な人々がそれぞれの思いを持って生活している。高い公共性もとめられるものだ。箱物だとか、テーマパーク型公園だとか時代遅れも甚だしい。その地域に住んでいる方々にとって魅力的なまちづくりというのが、戦略としてあるならあり、企業の真似っ子でまちづくりなどを行っても税金の無駄遣い、廃墟化は目に見えている。 企業に都合のいいまちづくりは失敗する。なぜなら街を構成しているのは地域住民だからである。	まちづくりの将来像として、「個性がいかされ活発な交流により、活力とゆとりある持続可能な多摩の実現」に向けて取り組んでいくこととしています。また、広域的なまちづくりを推進していくため、地元自治体との連携を積極的に行っていくとともに、ホームページやSNSを活用して、都民などに多摩のまちづくりの状況などを広く発信していくとしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	戦略1	イノベーション地区が形成された地区の知見を踏まえるなど、イノベーション形成に向けどのようなマネジメントが必要なかを加味すべきではないか。	頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		学生が気軽に使える学習スペースやオンライン面接に対応した部屋を考えて欲しい。大学は遠く、市の図書館は満員、カフェや飲食店は勉強に適していない。塾や予備校に行けない人も使える自習スペースが欲しい。これからの学生が勉強をしやすい環境のある多摩にしていきたい。	戦略5の「利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出」において、誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティがいたる場所に存在するまちを実現していくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	戦略2	横田基地の軍民共用化について周辺自治体の理解を得る施策として、防災（核）シェルターを建設し、平時は観光、スポーツ、学校給食センター、公園など複合施設として利用し、災害時（有事）は緊急一時非難施設として住民が使用する。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、横田基地の軍民共用化の実現に向けて、ビジネスジェットを含めた民間航空利用のための日米協議を進展させるよう国に働き掛けていくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		多摩の道路事情に圧倒的に足りていないのが、立体交差化であり、最低でも主要都道同士の交差点は立体交差化するべきだ。土地が確保できそうな箇所から優先的に立体化していき、次に渋滞発生しやすい交差点の用地を確保を始める。信号待ちを減らす事も立派な渋滞対策になり、CO2排出削減につながると思う。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、拠点へのアクセスや拠点間の連携強化に資する多摩南北・東西道路をはじめとする幹線道路の整備を推進することを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		三鷹立川間の複々線化、もしくは杉並区内の西荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺の快速通過。西多摩や八王子の人口減少率を減らす意味でも大いに意味がありますし、山梨県、長野県との速達化にもすぐつながります。また、多摩地域から羽田は不便な空港です。最近の再開発は東側に偏りすぎていると思います。利便性の標準化という視点で早期に新宿羽田空港アクセス線は整備をするべきだと思います。	2050東京戦略において、中央線（三鷹～立川）の複々線化については「国など関係者と連携し、仕組みづくりを進める」、羽田空港アクセス線については「関係者との協議・調整を加速（東山手ルートは、JR東日本が2031年度の開業を目指し事業中）」としています。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目	意見概要	東京都の考え方
まちづくりの方向性	<p>施策の方向性として提示された「区部や他の多摩地域内の拠点との連携、交流の促進」の部分において、「働き方改革と連携したオフピーク通勤促進の取組や先端技術も活用した利用の分散、輸送力強化方策を行う」との文言があったが、その点において具体的な内容の説明が欲しいと感じた。</p>	<p>全ての人々が生き生きと働き、活躍できる社会の実現に向け、都民や事業者の交通行動の工夫やテレワークの推進、効率的な物流など、快適な通勤環境の形成や企業の生産性の向上を図ることが必要です。</p> <p>このため、時差 Biz（多くの方々に快適な通勤を体験してもらう取組）、テレワークや物流の効率化などを、「スムーズビズ」として一体的に取組を推進しています。</p> <p>スムーズビズの取組は、災害時の業務継続や感染症の拡大防止にも役立つことから、今後も継続的に取り組まれ、社会に定着するように、それぞれの取組を推進していきます。</p>
	<p>戦略4 震災発生時の臨海部からの避難、居住地としても利用できるように、空白（都が所有）の多い街作り。</p>	<p>戦略4の「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」において、土砂災害や大規模水害、地震による火災等のリスクの高まりに対応した防災・減災対策を進めることを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	<p>今回の能登半島地震で改めて電線地中化の重要性を認識した。都内の新規道路建設において新たに電柱を設置することを全面禁止したことは先見の明があると大変感心しています。首都直下型大地震が憂慮されている現在、最優先でこれら幹線道路の電線地中化を迅速に進めてほしい。加えて、多くの人々が埋設した電線は地震によるダメージを受け易いと誤解していることも地中化が進まない原因ではないか？啓蒙活動を推進する必要がある。電線地中化最大の課題は工期短縮である。阻害要因が何で、解決のために何をすればいいのか、迅速な問題解決を切に望む。</p>	<p>戦略4の「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」において、緊急輸送道路の無電柱化を優先的に進めるとともに、開発や土地区画整理事業などのまちづくりの機会を捉え、無電柱化を実施することを示しています。</p> <p>都は「無電柱化の日（11月10日）」に合わせた啓発イベント等を展開しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	<p>無電柱化を進めてほしい。</p>	<p>戦略4の「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」において、緊急輸送道路の無電柱化を優先的に進めるとともに、開発や土地区画整理事業などのまちづくりの機会を捉え、無電柱化を実施することを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	<p>戦略5 マンション、団地、庁舎の裏手にアスレチックジムを整備して欲しい。建物の両サイドに階段を作って一階から階段を上がるようにしたら都民の足腰は相当強くなります。</p>	<p>頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	<p>戦略6 農地は市街地にあるべきものと位置づけられた。生産緑地の指定切れによりミニ開発が行われ、入り組んだ生活道路の宅地が造られつつある。空き家が活用されないままの宅地開発は、将来の空き家・空き地を増やすので、農地を残し活用される仕組みや地権者・市町村への支援をお願いします。</p>	<p>戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、買取の申し出があった生産緑地などは、市民農園や都市公園等としての利活用を進めるとともに、農地や屋敷林などが比較的まとまっている地域については、農の風景育成地区指定により、農の風景を保全、育成していくことを示しています。</p> <p>頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

項目		意見概要	東京都の考え方
まちづくりの方向性	戦略6	<p>多摩地域の大きな特徴・魅力の一つである「緑」について、戦略に書き込まれている視点の多くが、景観、賑わい、憩い、うるおい、観光といった軸になっています。</p> <p>P45、P51に記載されている「グリーンインフラ」については、P45に雨水流出抑制という言葉がある他は、あまり具体的な記述がないことから、緑・自然環境が有する多面的な機能、すなわち、水源涵養・水循環の健全化、防災・減災（洪水等）、水質保全、暑熱対策、カーボンニュートラルへの貢献、Well-beingといった様々な機能に関する記載を関連箇所に追加しては如何でしょうか。</p>	<p>戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、自然環境が有する機能を、社会課題の解決に活用するため、公共施設や民間施設等でグリーンインフラを導入することを示しています。</p> <p>なお、緑の持つ主な機能として、潤いのある生活環境の形成、ふれあいの場の形成、地球温暖化等の防止、野生生物の生息・生育環境の確保、都市・地域の防災力向上、風景・景観、歴史、芸術文化の形成があると認識しています。</p> <p>頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
まちづくりへの支援策	全体	<p>都民や企業などをいかに巻き込むかが、まちづくりを進める上で大切だと思うので、まちづくりの機運醸成の取組も期待しています。</p>	<p>目指すべき将来像とその実現に向けた方策について、都民や民間事業者、区市町村など、幅広い関係者と共有するとともに、今後の社会状況の変化にも的確に対応しながら、関係者と緊密に連携し、将来に向けた都市づくりを進めていきます。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
		<p>公、民、学が連携するプラットフォームには反対します。民、学の連携では、民がサボっているように見えてしょうがない。</p>	<p>社会情勢や価値観の変化等によりまちの抱える課題は多様化しており、その解決のためには、大学や企業、NPOなど様々な主体と連携を図ることが重要です。都は、公民学が連携するプラットフォームとして、まちづくりマッチングシステムを構築し、様々な主体が持つ専門性や強みを組み合わせて、地元自治体のまちづくりを促進することとしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	道路・交通ネットワークの充実を契機とした周辺のみちづくりの推進	<p>多摩モノレール沿いの駅周辺を活発化してほしい。特に中央大学・明星大学駅は戸建てが多く立っているがドラッグストアしかお店がないので、スーパーマーケットや飲食店を増やしてほしい</p> <p>私は大学が多摩市にあり、小田急永山駅を頻繁に使うのですが、京王バスの利用をする時大抵10弱は遅延してくることがあります。</p> <p>はるひ野駅や永山駅でレンタルサイクルを借りて学校の近くのステーションとかがあればもっと時間を有効活用できるのになと感じました。</p> <p>レンタルサイクルがあると個人的に嬉しいと感じています。</p>	<p>戦略3の「あらゆる人々の暮らしの場の提供」において、市街地の周辺で、地域のポテンシャルや中小ビル等をいかしたリノベーションなどにより、働き方・住まい方環境の充実やにぎわいの創出を強化することを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、公共交通の確保等の施策に係る地域公共交通計画を策定し、バスやタクシー、デマンド交通、自転車などの交通モードと先端技術を組み合わせ、駅を中心とした誰もが移動しやすい交通環境の充実を図っていくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	特徴を踏まえたエリアのみちづくりの推進	<p>地元住民の意識醸成に継続的な人材派遣をお願いします。</p>	<p>都は、公民学が連携するプラットフォームとして、まちづくりマッチングシステムを構築し、様々な主体が持つ専門性や強みを組み合わせて、地元自治体のまちづくりを促進することとしています。課題解決に資する技術やノウハウ、知見を有する団体を事前に登録し、地元自治体とマッチングさせ、まちづくりに最適なメンバーを組成し地域での取組を進めていくこととしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

項目		意見概要	東京都の考え方
まちづくりへの支援策	特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進	企業による農地活用による自然環境保全、環境教育を支援してほしい。	都は、地元自治体と連携し、都市の貴重な緑である都市農地が減少傾向を続ける東京において、各地域の特性を踏まえて、緑地や農地を活用した「緑農住」まちづくり（農地や里山、屋敷林等の農的土地利用と住宅地が一体となったまちづくり）を推進することとしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
TAMA拠点形成プロジェクト	町田	現状と課題の中に記載されていないこととして、鉄道駅間やバスの乗降場までのバリアフリー化への対応も考えられると思います。理由として、駅間や施設間の道のり（動線）において、小さな段差や昼間人口に対して主要とされている歩道の狭さが見られると考えたからです。バリアフリー化は商業施設の老朽化と共に更新することが可能であると思います。誰もが使いやすい道でもあり、利用人数に見合った道を作る必要があると実際利用していて感じました。	戦略3の「あらゆる人々の暮らしの場の提供」において、建築物、道路、公園、駅舎等の交通施設のバリアフリー化を加速するとともに、それらの施設相互を有効に連続させるネットワークづくりにより、面的なバリアフリー化の展開を示しております。頂いた御意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		将来像から「商業施設等と一体となった魅力的なみどり等の憩いやにぎわいあり、快適な歩行者ネットワークで回遊性の高いウォークアブルなまちが形成されている。」という達成のために、駅近くの公園と商業施設の関係を繋げることで既に存在する魅力を活用できるのではないかと感じました。駅から芦ヶ谷公園までの通りなどで緑を増やし、道から繋がりを作る事で公園の利用増加から人同士のコミュニティを広げる事が出来るのではないかと感じました。	戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、自然と調和した持続可能な都市を目指し、都民や企業等とともに緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進していくことを示しております。頂いた御意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	国分寺	一級河川、野川の整備に関しまして。近年、温暖化への気候変動に関わり、夏場の集中豪雨が目立つようになり熱帯地域の様な降雨の状態が多々見られます。野川の親水性と国分寺の歴史散歩道への連続性からいっても、出来る箇所から早々に整備を行うべきだと思います。	戦略4の「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」において、激甚化する豪雨や台風に伴う洪水、土砂災害などに対して、河川の護岸や調節池、砂防施設等の整備を推進、また、雨水流出抑制に資するグリーンインフラを活用した家づくり・まちづくりを推進することを示しております。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	八王子みなみ野	八王子みなみ野はみなみ野、七国、兵衛、西片倉からなっている地域です。そのため、八王子みなみ野駅周辺だけではなく、八王子ニュータウン全体で考えていくべきだと思う。拠点作りの具体的な取り組みには地域拠点ということを考慮し、八王子南バイパス、都市計画道路八王子3・4・8号線延伸の早期実現についても取り組んでいくべき。また、これから八王子みなみ野も高齢化が進み、多摩ニュータウンのようになる可能性が高いため高齢化対策にもしっかり取り組んでいくべきだと思う。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、拠点へのアクセスや拠点間の連携強化に資する多摩南北・東西道路をはじめとする幹線道路を整備することを示しております。また、戦略3の「あらゆる人々の暮らしの場の提供」において、高齢者等が安心していきいき暮らせる環境づくりを推進することを示しております。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目		意見概要	東京都の考え方
TAMA拠点形成プロジェクト	東小金井	府中市では甲州街道から東八道路までの南北の都市計画道路（多摩霊園の横やあみず通り付近）を整備しています。一方で、東八道路から北側（武蔵野公園付近）は未整備となっています。この付近では北上する際に小金井街道を使いますが小金井市内で渋滞していますので、早く整備してほしいです。防災の観点からも重要性が高まっています。他のページ（駅）では関連する都市計画道路の整備が記載されていますが、東小金井には記載がありませんので、計画に位置付けてほしいです。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、拠点へのアクセスや拠点間の連携強化に資する多摩南北・東西道路をはじめとする幹線道路を整備することを示しております。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	秋津	西武秋津駅およびJR新秋津駅の乗換改善によって、埼玉県と北多摩の両地域の人の移動の活性化につながり、経済交流と経済圏の拡大に貢献すると思うので、両駅の一体化と周辺地域の再開発(道路整備等)は力を入れてほしいと思います。	多摩のまちづくり戦略のTAMA拠点形成プロジェクト「地域の拠点:秋津」における、「拠点づくりの具体的な取組」の一つとして「秋津・新秋津駅周辺まちづくり」がございます。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	小平・小川	今回整備されます小川駅と小平駅は西武線で結ばれており、小川駅、小平駅周辺に在住する方々は各々の生活の中心地での消費活動を行うこととなります。問題は、それ以外の人々がいかにかこの両駅および商業施設を利用することかと存じます。市内の住民が足しげく通うことのできる魅力的なまちづくりが必要と思います。小平市内で消費活動が完結することを目標に、まずは、市内の交通の利便性がよく、移動しやすいまちづくりがわたくしたち市民にとって重要なことと存じます。そこに集う人々の移動のしやすさも併せてご検討いただけますと幸いに存じます。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、誰もが多様なモードで自由に拠点にアクセスできる交通環境づくりを進めることを示しております。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	小川	小川が生活の拠点になっているが、所沢と国分寺といった南北や新宿と拝島といった主要拠点を結ぶ結節点となる地域だが、地域の発展は遅れている。地域の拠点として設定いただき、都として整備の支援をして頂きたい。上述の通り、交通の要所なので、きちんと整備すれば防災や産業振興にも効果がある地域だと考える。	多摩のまちづくり戦略のTAMA拠点形成プロジェクトでは、「生活の中心地：小川」を含め、対象とする拠点について、毎年度、進捗や課題を確認し、まちづくりへの支援策も活用しながら、解決に向けた技術的な支援や関連する支援策の紹介を行い、地元自治体の課題解決を促進し、拠点整備を推進することを示しております。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	圏央道八王子西インターチェンジ	上川の里の写真はなぜ掲載されているのですか？当該ページにも他のページにも説明が見当たりません。西インターチェンジ周辺エリアについて、上川の里のような民間企業と協働したみどり保全を推進してほしいです。 ページ下部写真1のタイトルは「圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進」ではありませんか？ 開発エリアについて企業立地の際は、植栽、屋上・壁面緑化を全体的に実施させ、周辺のみどりと連続したみどりを確保してほしいです。	戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」では、多摩の魅力である緑や農をまちづくりに活用することを示しています。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。 写真のタイトルを修正しました。戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」では、緑と水をいかしたにぎわいと身近な憩いの場の形成を図ることを示しています。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	ページ下部写真3について、将来のまちづくりのイメージイラストなど、前向きな受け止めができるものにしてほしいです。今の写真はみどりを潰しているだけの写真と感じます。	戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」では、多摩の魅力である緑や農をまちづくりに活用することを示しています。頂いたご意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。	

項目		意見概要	東京都の考え方
TAMA拠点形成プロジェクト	箱根ヶ崎	箱根ヶ崎駅付近に大きな駐車場があれば、入間市、所沢市、飯能市などからのモノレールの利用が増えると思います。モノレール沿線には大学や私立高校も多いので、利用客は増えるし、近隣の中高生の進路選択に幅が広がると思います。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、連続立体交差事業を契機とした沿線まちづくりや駅の改良、駅前再開発などの様々な機会を捉え、計画的な駅前空間の整備を促進し、交通結節機能の強化を示しています。頂いたご意見につきましては、地元町と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		入間市、稲荷山公園、武蔵藤沢、狭山ヶ丘、小手指など西武池袋線沿線へのバスを増発して、箱根ヶ崎駅のバスターミナル機能を充実させる。南北の移動手段はすくないので、需要はみこまれるのではないかと。	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、連続立体交差事業を契機とした沿線まちづくりや駅の改良、駅前再開発などの様々な機会を捉え、計画的な駅前空間の整備を促進し、交通結節機能の強化を示しています。頂いたご意見につきましては、地元町と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	その他	「TAMA拠点形成プロジェクト」について、練馬区の武蔵関駅付近～武蔵関公園～都立東伏見公園のゾーンを採り上げて頂きたい。石神井川の下流から上流までの連続した護岸整備と合わせた連続的な拠点形成が求められる。	戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、水と緑をいかした賑わいと身近な憩いの場の形成を図ることとしています。頂いた御意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	「TAMAまちづくりプロジェクト」について、西東京市の都立東伏見公園～石神井川上流のゾーンを採り上げて頂きたい。現在、石神井川上流の治水対策として青梅街道や東伏見通りの地下にトンネル式の貯水池を作る計画があるようである。長大な地下トンネルの構造物の建設は、建設費が高額になるだけでなく、維持管理コストも高額となる。また、建設中の事故リスクのみでなく、将来の大地震でトンネルが崩壊した際の被害（民地、高校、公園の陥没）を考えると、都立東伏見公園の東側の取得済用地に貯水池を建設することが適切であることは明らかである。	戦略4の「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」において、激甚化する豪雨や台風に伴う洪水、土砂災害などに対して、河川の護岸や調節池、砂防施設等の整備を推進していくこととしています。当該地は公共用地が限られていたため、必要な事業用地が比較的小さくなる地下トンネル式調節池を採用しています。また、戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、水と緑をいかした賑わいと身近な憩いの場の形成を図ることとしています。	
	神奈川県内の多摩地域にも多少拠点を置いた方が発展はしやすそうだなと考えた。都市計画区域マスタープランも踏まえての現在の拠点だと思うが、多摩地域全域で考える場合拠点を増やした方が取り組み自体は大きくなってより良い都市化に繋がると考える。	本戦略は、多摩地域全域の都市計画区域を対象エリアとしています。本戦略策定後、着実にまちづくりを推進するため、まちづくりの進捗や社会状況等の変化を踏まえ、随時、プロジェクト等のブラッシュアップを行うこととしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。	
TAMAまちづくり推進プロジェクト		多摩都市モノレールの重要性は理解するが、具体性があまり見えない。近年、中心駅から公共交通を開通させて成功した例として、宇都宮のLRTがある。行った施策を研究して参考にしたい。	多摩都市モノレールの沿線まちづくりの進め方については、TAMAまちづくり推進プロジェクトのロードマップにおいてプロジェクトの方向性等の検討などを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		設計思想②において、地域間の交流を移動できるインフラとモビリティの整備は、住んでいる場所にとらわれずに、誰もが公平なサービスを受けられる基盤となると感じる。学校では、どんな教育活動にも必ず安全・安心というコンセプトを基盤とする。理由は、地域・保護者、子供たちの願いの中に、必ずあるからである。このような視点からも、今回のプロジェクトの成功を願うとともに、安全・安心というキーワードはぜひ、もって置いてほしいと考える。	安全なまちという子供の意見もありました。多摩都市モノレール延伸部の新規基盤連携型プロジェクトでは、地域内外の交流を支える自由に移動できるインフラとモビリティの標準整備を示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目	意見概要	東京都の考え方
TAMAニュータウンプロジェクト	<p>永山駅はよく利用するが、自分としては既に永山駅周辺はこのプロジェクトの内容を満たしているように見える。病院や集合住宅やその他のインフラも整備されていると感じたがこれ以上集約や再整備をする必要があるのか。</p> <p>南大沢のスマートシティーに反対です。スマートシティーは企業との紐付けがされ、個人情報や情報が流され情報弱者（特に個人情報保護に対する安全面）である住民がいつの間にか多くの情報を企業や場合によっては東京都にも吸い上げられ、経済面でも、生活面でも損害を受ける可能性がある。スマートシティーは企業にとっては都合がよいが住民にとってはかならずしも必要ではない。</p>	<p>多摩ニュータウンは、多摩市諏訪・永山地区で最初の入居が始まり50年以上が経過し、少子高齢化の進行に加え、都市基盤や住宅、施設の高経年化など様々な課題が顕在化してきています。TAMAニュータウンプロジェクトにおいて、永山駅周辺再構築などを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>南大沢スマートシティーでは今後、新たなモビリティや地域の情報を一元的に提供するアプリ等のスマートサービスの実装に向けた取組を行ってまいります。取組を進めていくにあたっては、関係法令に基づき個人情報の保護に十分に配慮して進めてまいります。</p>
附属資料	<p>有識者だけでなく、小学生も巻き込んで一緒に考える姿勢が素晴らしい。おそらく今の小学生がこの国を牽引するころ、この計画が実現されていくだろうと考えているので……。ナイスです！！</p>	<p>本戦略の作成に当たっては、子供の意見表明の機会を充実させるとともに、その意見が適切に施策に反映されるよう、出前授業、アンケート調査及びこどもワークショップを実施しました。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>